

## H29 シカ年度 エゾシカ対策事業計画及び進捗報告

### 1. 遺産地域内（環境省釧路自然環境事務所）

#### （1）知床岬地区（捕獲目標頭数 約 20 頭）

##### 【現状・課題】

- ・ 2007 年度より密度操作実験・個体数調整を実施。
- ・ 植生に関しては、草原台地上のクマイザサの稈高、イネ科草本の現存量、在来植物群落の群落高や植被率及び一部の指標種（嗜好種）において回復傾向がみられ、エンレイソウの開花株数も増加。
- ・ 2017 年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、15.9 頭/km<sup>2</sup>。
- ・ 南側からのシカ流入が少ないと、厳冬期における大人数による捕獲の費用対効果が低くなるのが課題となっている。

##### 【事業計画】

##### ● 期間：

- ・ 流水期（巻狩り・へり）：3月上旬に1回。
- ・ 残雪期・無雪期（巻狩り・船）：4月～6月に1～2回。

#### （2）ルサー相泊地区（捕獲目標頭数 約 80 頭）

##### 【現状・課題】

- ・ 2012 年度より密度操作実験・個体数調整を実施。
- ・ 植生に関しては、集中的に個体数調整を行っているルサ地区ではイネ科草本の回復がみられる。
- ・ 2017 年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、2.8 頭/km<sup>2</sup>。
- ・ 低密度化に伴い捕獲効率が低下しており、また、相泊以北については物理的に捕獲が難しい点が課題となっている。

##### 【事業計画】

##### ① 囲いわな（相泊）

- 期間：ヒグマの出没状況を見つつ3月末まで捕獲を実施。

##### ② 小型箱わな・くくりわな（ルサ～相泊）

- 期間：1月～3月に小型箱わな（ルサ・相泊）及びくくりわな（ルサ～相泊）を設置し捕獲を実施。



図1. ルサー相泊地区における

H29 シカ年度エゾシカ捕獲事業実施予定地点

(3) 幌別-岩尾別地区 (捕獲目標頭数 約 85 頭)

【現状・課題】

- ・2011 年度より密度操作実験・個体数調整を実施。
- ・植生に関しては、草原のオオヨモギ、森林のマイヅルソウなどがわずかに回復する傾向がみられているが、稚樹類はほとんど回復がみられない。
- ・2017 年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、4.6 頭/㎢。
- ・冬期のアクセスが困難な東部（硫黄山登山口付近～五湖の断崖）及び観光地を含む西部（岩尾別川～幌別川左岸）について十分な捕獲圧をかけられておらず、局所的に高密度のエリアが残っている点が課題となっている。

① 仕切柵を用いた大型囲いわな式捕獲 (岩尾別台地・既設)

- 期間：1 月下旬から 4 月まで捕獲を実施。

② 流し猟式 SS (岩尾別川河口)

- 期間：2 月～3 月に週 1 回程度捕獲を実施。

③ 囲いわな (幌別川河口・再設置)

- 期間：3 月下旬まで捕獲を実施。

④ 箱わな (プユニ岬付近、幌別川河口)

- 期間：2 月から 3 月まで捕獲を実施。

⑤ 待ち伏せ式誘引狙撃 (岩尾別台地上)

- 期間：1 月から 4 月まで捕獲を実施。

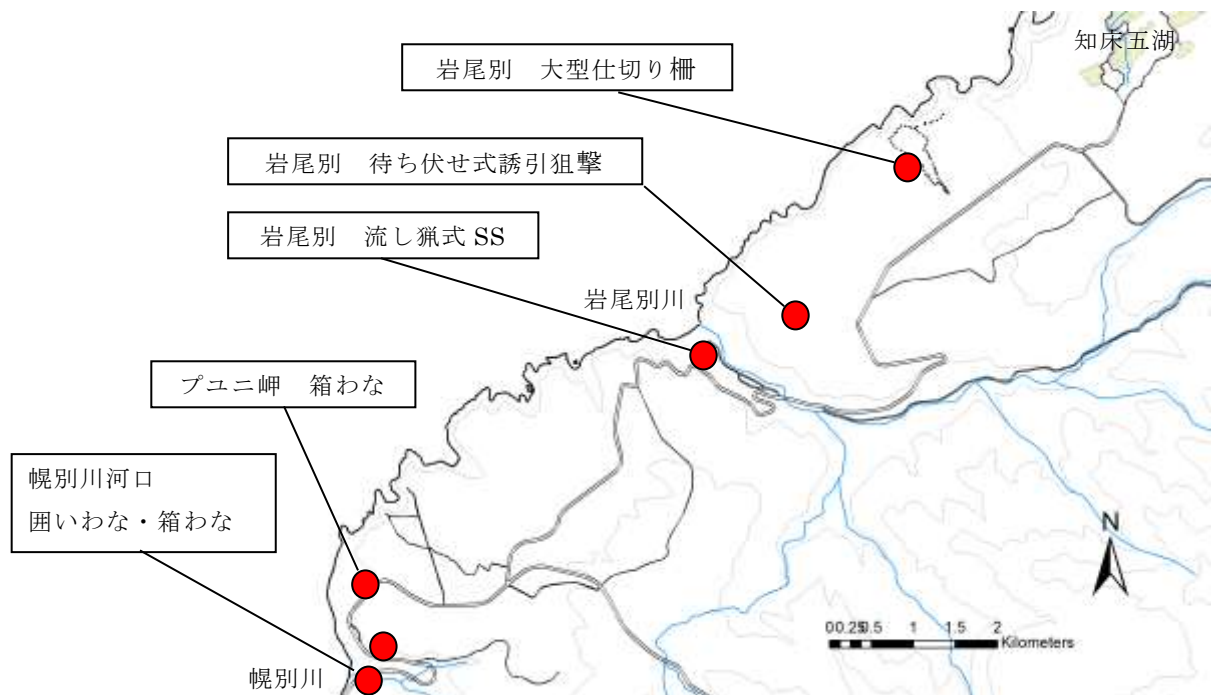


図 2. 幌別-岩尾別地区における H29 シカ年度エゾシカ捕獲事業実施予定地点

## 2. 隣接地域（林野庁知床森林生態系保全センター）

### 【現状・課題】

- ・2013年度より個体数調整を実施。
- ・植生に関しては、斜里町ウトロ地区から真鯉地区、及び羅臼町南部の低標高域から海岸段丘において、シカ越冬地を中心に強い影響が進行中である。
- ・2016年に実施した航空カウント調査によるエゾシカ発見密度は、斜里町側で3.9頭/km<sup>2</sup>、羅臼町側で3.2頭/km<sup>2</sup>。
- ・今後シカ肉の持続的な利活用も視野に入れて個体数調整を行うことが課題となっている。

### (1) 銃による個体数調整（捕獲目標頭数 約10頭）

#### 【事業計画】

巻狩（ウトロ地区）

- 期間：3月中旬に捕獲を実施

### (2) 銃器以外による個体数調整（捕獲目標頭数 約190頭）

#### 【事業計画】

① 囲いわな（ウトロ地区6箇所）

- 期間：1月初旬から4月まで捕獲を実施。

② 囲いわな（羅臼地区1箇所）

- 期間：1月初旬から3月中旬まで捕獲を実施。

③ 箱わな（ウトロ地区1箇所、羅臼地区1箇所）

- 期間：1月中旬から3月中旬まで捕獲を実施。

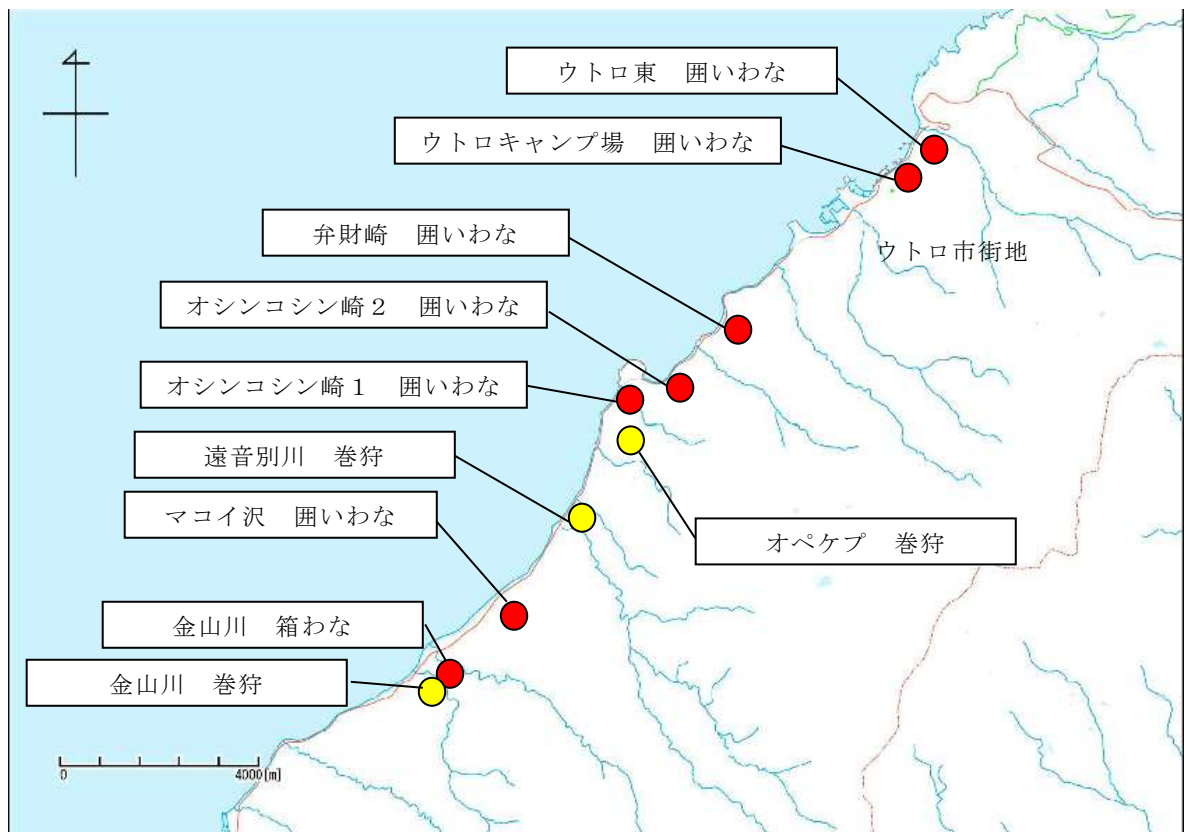


図3：遺産隣接地域におけるH29シカ年度エゾシカ捕獲事業実施予定地点（ウトロ地区）



図4：遺産隣接地域における H29 シカ年度エゾシカ捕獲事業実施予定地点（羅臼地区）

### 3. 隣接地域（北海道・斜里町・羅臼町）

#### （1）銃による個体数調整

- ・斜里町ではウトロ高原農地、半島基部農地で捕獲を実施。ウトロ地区では麻酔銃による捕獲も実施した。
- ・羅臼町では町有林における巻き狩りと流し猟を実施。

#### （2）狩猟

- ・狩猟期間は10月1日から始まり、斜里町は一部を除き3月末まで、羅臼町は1月末まで。斜里町内の隣接地域において狩猟での効率的な捕獲を検討するため可猟期間に中断期間を設定、この地域の狩猟期間は2月末まで。（北海道）

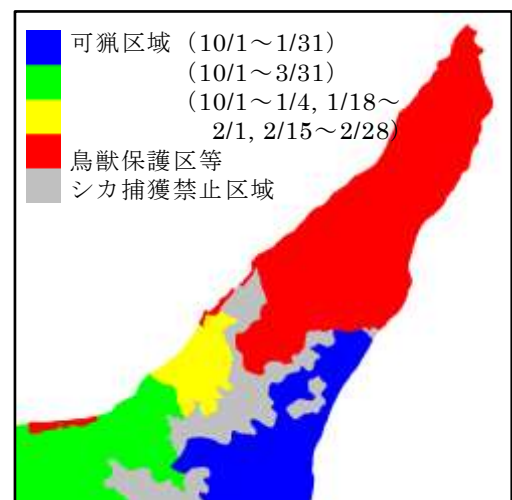


図5．エゾシカ可猟区域